

# おち町

No. 102

2012年11月1日発行  
高知県越知町議会

議会だより OCHI TOWN

まめお口で  
いっしょやなえ

私きれいでしょう  
野老山地区ぐるみ運動会

## 9月定例会

2P 平成24年度一般会計補正 7345万円

4P 平成23年度一般会計決算歳出 41億8763万円

6P 町のお金の使い道を検証（決算合同審査）

8P 越知中屋内運動場・プール改築工事を5億9829万円で契約

10P 町営住宅建設、高齢者福祉などを5人が問う（一般質問）

# 越知中屋内運動場・プール改築工事を 5億9829万円で契約

【8面に関連記事】

平成24年9月定例会

## 一般会計7345万円を補正

9月定例会は、14日から20日までの会期で開き、平成24年度各会計補正予算、野老山小学校閉校の条例改正（9面に関連記事）や越知中屋内運動場・プール改築工事請負契約など15件と平成23年度各会計決算10件を全会一致で可決・認定しました。  
一般質問は町営住宅建設の課題や介護福祉問題などについて、5人が行いました。【10面から】

また、議員申し合わせによる正副議長選挙を行い、議長に岡林幸政氏、副議長に斎藤政広氏が選ばれました。【8面に関連記事】

### 平成24年度9月補正予算

会計名	補正額	総額	
一般会計	7345万円	49億8717万円	
特別会計	簡易水道	258万円	7942万円
	下水道	295万円	1億4801万円
	国民健康保険	423万円	8億6577万円
	介護保険	1892万円	10億9565万円

### 一般会計補正予算の概要

#### 総務費

財政調整基金積立金3620万円。  
高知FDホームタウン活性化事業、  
野老山バス停待合所新設工事など。

#### 衛生費

浄化槽設置補助金99万円など。

#### 農林水産業費

集落営農・拠点ビジネス支援、有害鳥獣被害対策、JAコスモス女性部などに補助金587万円。農道南ノ川線、林道横倉長者線舗装補修工事など。

#### 土木費

町道上流屋敷線舗装、今成排水路改修、佐ノ国1号線落石防護工事などに1650万円。

#### 教育費

野老山小学校閉校の補助金、幼稚園進入路改修工事など。

# 高知FD交流活性化 283万円



今年もドッグス田で園児たちと稲刈り

**岡林(学)** 高知ファイティングドッグスの活性化事業は、県の緊急雇用という活動をするのか。 **小田企画課長** 球団に11月から来年3月まで一人を雇用し、交流人口の拡大や町の活性化につながる仕事をやってもらおう。

## 旧堂ノ岡小測量休止

**高橋** 旧堂ノ岡小学校用地測量を減額するのは、取りやめにしたのか。

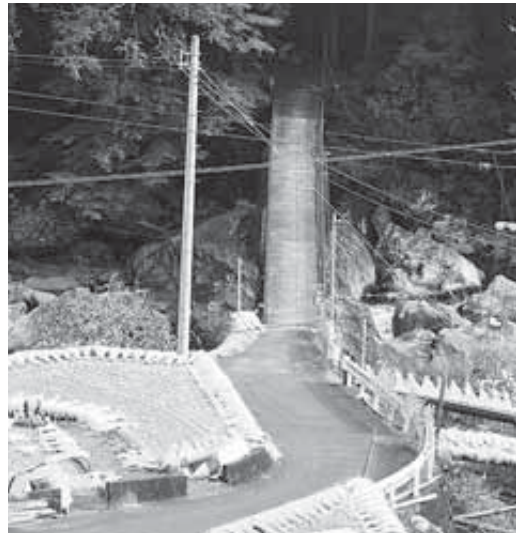
**大原総務課長** 6月議会で上程したが、少し考慮が必要ということで休止する。

## ニンジン栽培に補助

**武智** 農業振興費の拠点ビジネス支援事業補助金500万円の内容は。

**小田産業建設課長** 今成地区でドレッシングの材料となる野菜の生産に取り組むため、ニンジンの掘り起こし機と洗浄機、選別機の購入に充てる。県が2分の1、町が4分の1の補助金。

## 下ノ谷橋の拡幅



拡幅される下ノ谷橋

**寺村** 下ノ谷橋の拡幅の内容は。

**小田産業建設課長** 鋼板を入れて軽四輪車が対岸へ渡れるくらいの広さにする。

## 野老山でシカ情報

**片岡(清)** 有害鳥獣対策補助金10万円の内容と年間の駆除状況は。

**小田産業建設課長** 7月に野老山でシカの情報があり、それを駆除する費用である。

23年度は、イノシシ約170頭、サルが32頭で、今年はそれを上回る勢いで捕獲している。

## JA越知女性部の先進地視察

**齋藤** JAコスモス女性部補助金72万円の内容は。

**小田産業建設課長** JAコスモス女性部の越知支部が島根県のJAいわみ中央へ約25人で先進地視察に行く。

## 農道南ノ川線完了

**片岡(清)** 農道南ノ川線新設工事の内容と今後の計画は。

**小田産業建設課長** 終点を回転場にして、水路を修繕して完了する。

終点から作業道の要望があったが、現場の条件が悪いため、別ルートで計画したい。

## 上流屋敷線の舗装

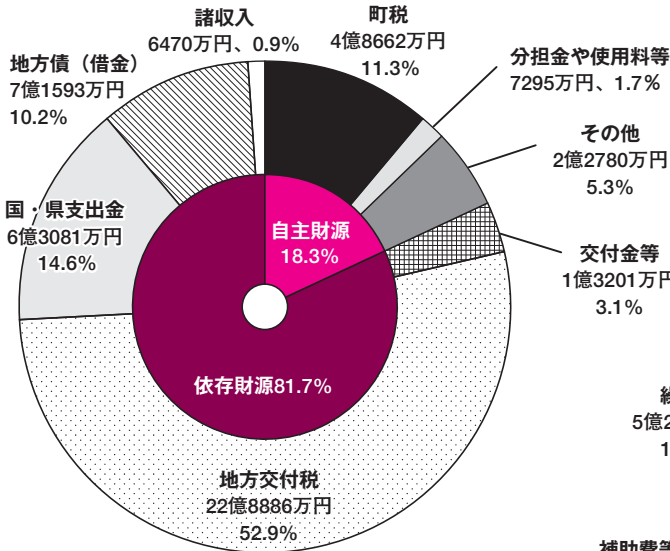
**片岡(清)** 町道上流屋敷線舗装工事は全部舗装するのか。

**小田産業建設課長** 完成した全部を舗装する。

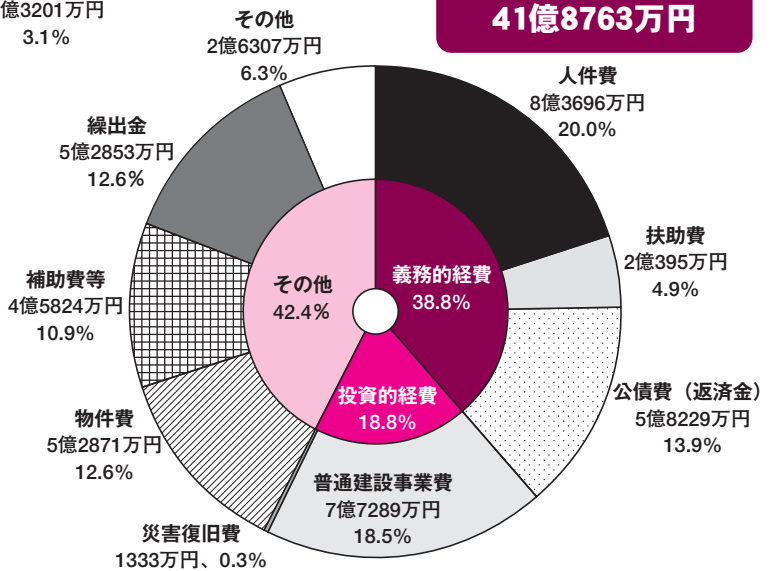
平成23年度一般会計（歳出総額）

# 41億8763万円を認定

**歳入**  
43億2454万円



**歳出**  
41億8763万円



平成23年度財政健全化判断

指標	健全化判断率	早期健全化基準
実質赤字比率	—	15.0%
連結実質赤字比率	—	20.0%
実質公債費比率	9.6%	25.0%
将来負担比率	17.1%	350.0%

平成23年度決算の財政健全化判断と公営企業の経営健全化判断は、いずれも健全化基準を下回っており、財政赤字、資金不足は生じていない。引き続きこの指標を注視し、健全な財政運営を維持しなければならない。

**赤字、資金不足はない**

**財政の健全化判断**

平成23年度経営健全化判断

会計名	資金不足比率	健全化基準
水道事業	—	20.0%
簡易水道事業	—	20.0%
下水道事業	—	20.0%

●実質公債費比率  
町の標準財政規模に占める借金返済の割合が18%以上は地方債の発行に知事の許可が必要で、25%以上は単独事業の起債ができない。  
●将来負担比率  
町の標準財政規模に対する将来支払う負債の比率。350%以上で早期健全化団体となる。  
●標準財政規模  
国等の補助金や借入金などを除いた通常の収入が見込まれる一般財源の規模。

一般会計  
特別会計  
合わせて

# 64.5549 億円

町債（借金）残額56億7669万円（対前年1億2417万円減）

平成23年度の各会計決算並びに基金の運用状況は、9月定例会で審議し全会一致で認定しました。

監査委員  
意見・要旨

## 67%が依存財源

### 一般会計

#### 経済対策事業減る

前年度に比べて、歳入が2億9172万円、歳出が2億2657万円の減額となっている。

歳入では、町債（借金）発行額が減額し、歳出は、国の経済対策事業の減少や繰上償還による公債費（返済金）の減額などが要因である。

#### 町税徴収率が微増

町税の収入済額は4億8662万円、徴収率は95.1%と（前年度94.1%）向上し、不能欠損額は減額している。

#### 町債（借金）発行は前年の62%に抑制

国・県の支出金と地方交付税の割合が歳入総額の67.3%を占め、依存財源に頼った財政体質となっている。

町債（借金）発行額が前年度の61.8%と抑えており、引き続き町債発行額の抑制を望む。

### 国保会計

#### 国保税収入が増額

収入済額が前年度より1217万円増額し1億4192万円、収入未済額、不納欠損額が減額して良い傾向である。

### 水道会計

#### 利益が前年比52%

総収益が前年度に比べ微増したが、総費用の増額により純利益は前年度比51.7%となっている。

配水量が増え、給水量が減ったことは、横倉配水池の耐震化対策に伴い、流量計を更新し、計測がより正確になったことが要因である。

### 下水道会計

#### 水洗化率50%超す

水洗化率は平成23年度末で51.8%（前年度49.9%）と微増したが、さらに加入促進に努めること。

### 平成23年度会計別決算額

会計名	歳入	歳出	
一般会計	43億2454万円	41億8763万円	
特別会計	簡易水道	1478万円	1470万円
	国民健康保険	8億4422万円	8億4396万円
	下水道	1億5082万円	1億5074万円
	土地取得	1940万円	1940万円
	蚕糸資料館	15万円	15万円
	自然の森博物館	2491万円	2491万円
	介護保険	10億7690万円	10億6731万円
	後期高齢者	1億215万円	1億129万円
企業会計（水道事業）	4898万円	4540万円	
合計	66億685万円	64億5549万円	



深瀬簡易水道施設を調査

●**不納欠損額**  
予定した収入が滞り、時効成立などで徴収できなくなる金額。

●**収入未済額**  
予定した収入のうち、出納閉鎖日（5月31日）までに入金されなかった金額。

平成23年度決算合同審査

使い道を徹底検証 (賛成全員で認定)

一般会計

中学生が植樹体験



大きく育つようお願いを込めてピワを植える

**齋藤** 歳入の協働の森事業協賛金（土佐ツムラの森）150万円の事業内容と使い道は。

**片岡産業建設課補佐** 交流事業の体験学習として、中学生や教師、㈱ツムラ、ヒューマンライフ土佐、県・町職員などが参加し、

越知町とツムラのつながりの講演や葉草園でピワの植樹を行い、葉草の勉強も行った。

また、町有林の間伐を行っており、費用は植樹の代金や作業道への舗装などに使っている。

乳児健診や予防接種など約400万円が残る

**岡林(学)** 妊婦・乳児検診と予防費の委託料は、22年度決算と同様に大きい不用額が出ている。

昨年は啓発に努めて増やすということだったが、町民の健康や子育てについて、もっと真剣に取り組んでもらいたい。

**戸田住民課補佐** 受診・検診者の人数が当初の予測より少なかった。

妊婦・乳児検診は個人宛に通知している。定期予防接種等は広報に載せ、電話でも呼び掛けている。

役場をLED化

**齋藤** LEDの設置と、今後も替えていくのか。また、電気代はどれくらい節約したか。

**大原総務課長** 23年度は住民課と出納室、本年度は税務課に設置した。今後、全庁に備えていきたい。

全部LED関係とは言えないが、23年度と24年度の8月までを比べると18万円くらいの差が出ている。



LEDにして明るくなった

職員提案に褒賞金

**山橋** 職員提案制度の褒賞5万円の内容は。

**大原総務課長** 業務の効率化や住民の利便性などの職員提案制度である。

一定の効果が期待できるものを採用し、10万円を上限に褒賞している。

**織田総務課補佐** 職員が総務課を経て町長に提案し、課長会等で審議して決定する。

防災無線放送線越

**武智** 消防施設費の線り越しは、事情があつて遅れたのか。

**大原総務課長** デジタル防災行政無線整備事業で、年度内完成の目標だったが、震災の関係で物資が調達できなくなったことや事業規模も大きく、結果的に線り越しになった。

## スクールバスを 1路線廃止

**山橋** 通学対策費の委託料で不用額が出た理由は、高橋教育次長 児童、生徒の減少でスクールバス路線を一つ廃止した。

## 学力向上を目指し 先進地視察

**岡林(学)** 教育費補助金の「体験を通じた豊かな学び研究事業」83万円の内容は、

**高橋教育次長** 学力を全国レベルにすることを目的として、小中学校の教師が学習方法の研究のために先進地の視察を行っている。

**山橋** 先進地研修の教職員の負担は、  
**高橋教育次長** 負担はな  
く、100%補助である。

# イルミネーションの成果は



年末はイルミネーションで心和む

**武智** 「未来革命おち」の補助金35万円は何年も続いているが、成果を検証しているか。

**小田企画課長** 役場前のイルミネーションだが、商工会によると、もう少

し手を加え、更新したいとのことだ。  
内容が少しずつ充実し、マスコミにも取り上げられ、一定の成果はあると思っている。

## おち駅に男性雇用

**武智** おち駅活用事業業務委託料468万円の内容と今後の財源はどうするのかが。

**小田企画課長** 男性一人の件費と観光協会のマップやチラシの印刷費、データ作成費、消耗品費など。

制度は25年度末まで継続するが、その後は内部で協議して、何らかの対応を考えたい。

## 林道小日浦線 葉山との連結は

**斎藤** 県営林道小日浦線が完成したと聞くが、旧葉山村の牧場跡の道が通れないとつながらないと思うが、どうなるのか。

**小田産業建設課長** 林道小日浦線は本年度に完成するが、牧場跡までの工事である。

葉山側から牧場跡の道は柵がされており、今後は県と地権者との話になると思う。

## 水道会計

### 流量計を更新

**斎藤** 流量計の更新で計測が正確になったということ、有収水量率82.5%だが、どれくらいが適正の数値なのか。

**北添環境水道課長** 有収水量率の基準はないが、85%以上あれば良いと思う。

少し率が下がっており、今後は不明水、漏水等をなくすようにしたい。

### 定期的な漏水対策

**斎藤** 85%に近付ける具体的な方策は。

**北添環境水道課長** 漏水検査を定期的に行い、漏水個所の改修をしている。今後も計画的に行う。

## 基金

### 地域福祉のため有効活用を

**斎藤** 地域福祉振興基金1億9495万円を、毎年いくらかを取り崩して地域福祉のため、長期的に有効に使えないか。研究したのか。

**吉岡町長** 財政シミュレーションとも絡むので、研究してみたい。

### 育英基金の運用

**藤原** 小田原育英基金の運用状況はどうなっているか。

**高橋教育次長** 22年度末貸付残高が3184万4000円で23年度貸付金が331万2000円、償還金が276万6000円、23年度末貸付金残高が3239万円となっている。

9月  
定例会

# 議会の組織変更

## 議長に岡林幸政氏

## 副議長に齋藤政広氏

議員申し合わせ（任期2年）による正副議長選挙を行い、議長に岡林幸政氏（岡林氏7票、藤原俊夫氏5票）を再選、副議長に齋藤政広氏（齋藤氏12票）を選出しました。

また、任期満了に伴う各常任委員と議会運営委員を次のとおり選任しました。

### ◆総務教育常任委員会

◎山橋正男、◎西川晃  
片岡久一郎、岡林学  
齋藤政広、市原静子

### ◆産業建設常任委員会

◎武智龍、◎高橋丈一  
寺村晃幸、片岡清則  
藤原俊夫、岡林幸政

### ◆議会広報常任委員会

◎岡林学、◎齋藤政広  
武智龍、高橋丈一  
市原静子

### ◆議会運営委員会

◎片岡清則、◎藤原俊夫  
山橋正男、西川晃  
武智龍

### 工事請負契約

## 越知中屋内運動場・プール改築工事

▼契約金額 5億9829万円  
▼契約相手 (株)開洋 代表取締役 濱田幸一  
(賛成・全員)  
鉄筋コンクリートと一部鉄骨構造4階建てで、屋内運動場とプール一体型の施設。  
1階が物置、2階がプール、3階が体育館、4階がギャラリイとなっており、屋根には44キロワットの太陽光発電施設を備える。  
来年2学期から使用できる予定。



生まれ変わるため取り壊された体育館とプール（7月9日撮影）

### 工事請負変更契約

## デジタル防災行政無線整備事業

▼デジタル防災行政無線整備事業  
役場の親局が何らかの被害で機能停止すること想定し、持ち運びできる装置1局を追加する。  
高吾北消防本部に備える遠隔制御装置を機能の高いものに変える。  
1182万4150円増額し、2億5636万6000円とする。  
(賛成・全員)

### 防災会議条例の改正

防災会議の事務に、町長の諮問に応じて重要事項の審議をすること町長に意見を述べることを追加し、防災会議委員に自主防災組織や学識経験者から一人を加える。  
(賛成・全員)

### 3交流施設を削除

やすらぎの交流空間施設の桐見川1（潰野）と佐之国1、2の3施設を賃借期間が終了したため削除する。  
(賛成・全員)

### 今成を上水道区域に

上水道の給水区域に今成地区を加える。  
(賛成・全員)

### 桑敷地区の辺地計画

携帯電話エリア整備事業の事業費7836万円のうち1910万円を一般財源とし、辺地債（借入金）で計画する。そのうち80%が地方交付税に算入される。  
(賛成・全員)



# 野老山小学校が来年閉校

明治5年に現在地に  
あつた庄屋敷敷を小学校  
とし、明治25年に野老山  
尋常小学校として正式に  
尋常小学校として正式に  
校となり、中学校を併設  
する。  
昭和22年に野老山小学  
校となり、中学校を併設  
する。  
昭和41年に校舎を焼失  
し、翌年改築。同年、中



地区の運動会ではスチールパンの演奏も披露(10/7)

こんなことが決まったぜよ

## 町道の認定 (賛成・全員)

路線名	延長	幅員	認定理由 (場所)
本村中村線	2152.0m	3.0m	農道を移管 (野老山)
南中村線	124.7m	3.0m	農道を移管 (野老山)
後山母ノ森線	2916.5m	2.5~4.0m	農道を移管 (後山一母ノ森)
女川南屋敷線	150.0m	4.0m	新規計画 (女川)

## 町道の変更 (賛成・全員)

路線名	変更前	変更後	変更理由
佐ノ国3号線	504.8m	921.8m	農道部分を追加

学校は越知中学校へ統合  
となる。  
平成16年4月に休校と  
なるまで130年間に渡  
り子どもたちが学んだ。  
その後「おとなの学

校」として卒業生たちが  
集う校舎となつている。  
平成25年3月31日で閉  
校とする。  
(賛成・全員)

## 一般質問

9月定例会では5人が  
一般質問を行いました。  
【次のページから】  
会議録はホームページ  
と議会事務局でご覧でき  
ます。

③ ② ①  
山橋正男・・・11  
自主防災組織の状況  
消防庁舎の掘削土  
いじめ問題と不登校

③ ② ①  
高橋丈一・・・10  
消防庁舎の残土処理  
3区町営住宅の計画  
地域おこし協力隊の借  
家の改修

② ①  
片岡清則・・・14  
入札制度の課題  
町営住宅用地の購入

④ ③ ② ①  
武智龍・・・13  
3区町営住宅の計画  
人口減少対策  
町村会長のプラス効果  
町長業務の支障

③ ② ①  
市原静子・・・12  
介護保険の軽減策  
介護ボランティア事業  
歯科訪問診療の緩和

## 今号の表紙

来年で閉校となる  
野老山小学校で、恒  
例の地区ぐるみ運動  
会が開かれた。  
地区内外から大勢  
の選手や観客が訪  
れ、青空の下、歓声と  
笑い声が響き渡った。



# 悪土の処理は誰が許可した 産廃の許可はしてない／産業建設課長



高橋 文一 議員

**問** 消防本部新築工事の掘削中、6月12日に出た産業廃棄物と思われる悪土を町の横倉山残土処理場に39日間置いていたが、許可をしたのか。業者は産廃の保管基準を守っていたのか。

**小田産業建設課長** 産業廃棄物の許可はしてないが、5月31日に一般の土は許可している。産業廃棄物の件は新聞を見て知った。

**吉岡町長** 6月12日の夜に聞いた。土の分析結果では、ダイオキシン濃度は基準値以下だが、県の立ち会いの上で処理するのが原則であり、県からは指導を受けている。

**松田高吾北広域消防長** 6月29日に分析結果が出たので、7月19―20日に日高村のエコサイクルセンターへ処理した。保管はブルーシートを掛けていただけである。

**問** この問題を軽んじているのではないか。産業廃棄物を無断で置いたことにとどのような処分をするのか。

**吉岡町長** 軽んじるつもりはない。業者には厳しく指導するが、県に報告書を出

し、指導を待つており、その後になる。

●高吾北広域消防長の答弁  
広域事務組合と町とは別の法人であり、町議会の一般質問で他団体の職員が答弁することはあり得ないが、町長から消防長の発言の申し出があり、議長が許可したものである。

## 3区町営住宅

## 町民の移動では反対も

### 町外からの移住を基本／町長

**問** 住戸の構成と人数設定や移住者の割合、家賃設定はできているか。

**小田企画課長** 現時点では世帯タイプが18戸で単身タイプが32戸であるが、11月末に基本設計ができるので、議会にも示す。

**大原総務課長** 家賃の設定はできていない。建設費や用地購入費、

地域優良賃貸住宅制度などにに基づき算定するが、事業費の詳細が確定した時期になる。

**問** 世帯タイプと単身タイプの構成が反対ではないのか。

建設反対の陳情もあるが、町民の移動では反対も当然で、将来人口6000人の目的にも合わないのではないか。

## 地域おこし協力隊 借家の改修は

少し遅れている

**問** 地域おこし協力隊の借家の改修はどうなっているか。

また、どのような活動をしているのか。

**小田企画課長** 借家の改修は、事務的な手続きに時間が掛かり少し遅れている。

活動は、おち駅で物産販売のサポートや観光情報、旬の野菜情報などをブログに載せている。

また、町内のイベント活動や佐川町へ週2回有機農業の研修に行っている。



おち駅で販売活動をする地域おこし協力隊の川合里奈さん(右)

**吉岡町長** 世帯割は、まだ検討段階である。町外からの移住を基本に考えている。町を売り出したがいし、人口減を少しでも止めたい。

山間地の独り暮らしの人にも入ってもらいたい。考えられる。

**小田企画課長** 地形がいくつかで面積が少なく駐車

## 自主防災

# 100%の組織化は

## 訓練や学習会で意識を高める／総務課長



地震体験車で揺れの怖さを実感する（鎌井田）



山橋正男 議員

**問** 自主防災組織は、県が目標とする平成26年度100%達成が可能か。また、南海地震の対応は。9月12日にJアラートの一斉訓練が全国で実施されたが、本町ではトラブルはなかったか。

**大原総務課長** 63地区のうち36地区が組織している。

100%達成を目指す。が、小規模集落が多く、単独での組織化が難しい地区もあり、訓練や学習会を開いて防災意識を高めるように取り組む。Jアラートは震度4以上が発生する数秒前に通報があるシステムで、本町は正常に受信した。

**吉岡町長** 住民の生命が大切で、どこでもヘリコプターを呼べる整備を進めており、桐見川に5基の目が完成する。

山の崩壊による川のせき止めが心配だが、落石対策など、できることは行っている。

## 消防庁舎の掘削土

# 産業廃棄物との認識は

## 出た時は認識していない／町長

時に立ち会うべきだったと指摘を受けた。人体への影響はない。

**小田産業建設課長** 5月31日に業者から相談があり、工事で発生した一般の土で再利用するものは旧ドライブイン都跡地へ、それ以外は横倉へ置くことを許可した。

相談を受けたのはこの日だけである。

**松田高吾北広域消防長**

6月12日に町長に報告した。その時は産廃の認識はなかった。コンクリートブロックは消防敷地に置いて、産廃処理業者と契約して処理した。

## いじめ問題と不登校

**問** いじめ問題は全国的な社会現象となっていないか。

いじめは早期発見、早期対応が大事だが、小中学校でいじめはあるか。また、不登校の生徒はいるか。

## いじめはない

**山中教育長** 23年度は小中学校で1件あった。冷やかしかし、からかいであったが、今は解決している。現在は落ち着いておりいじめはない。

いじめはいつ起こるか分からないので、日ごろの対応が重要である。

小中学校でアンケート調査を行い、いじめの予防、早期発見、早期対応に取り組んでいる。不登校は一人いるが、いじめが原因ではない。

# ポイント制の導入を図れ

## 財源と事業効果を検証／住民課長



市原静子 議員



明るく元気な高齢者を増やす(健康体操:きたえん坊将軍)

**問** 介護報酬の改定は3年ごとに行われるが、介護サービスを利用せず元気に暮らした高齢者に「お元気ポイント」のようなものを導入し、保険料やサービス利用料の軽減を図る考えはないか。

**岡林住民課長** 8月現在の第1号被保険者数は2587人で、要支援・要

介護認定者数は566人であり、2000人以上が認定を受けていない。住み慣れた地域で安心して健康で長生きできることが大事である。老人クラブやデイサービス、各地区のミニデイ、介護予防体操などに参加すればポイントを与えて、それに応じて商品券などを発行すれば介護

予防と商店街振興の相乗効果が生まれ、多くの町民が介護予防に取り組むと期待される。ただ、財源の問題もある。そのため、事業効果を検証したい。

### 介護ボランティア

## ポイント換金制度を

### 時間を掛けて研究／住民課長

**問** 高齢者が介護ボランティアを行うと、ポイントが与えられ、換金することができる。「介護支援ボランティア事業」が各市町村で進められている。

これは、保険給付費を抑制し、保険料を軽減するメリットがあるが、導入する考えはないか。

**岡林住民課長** この制度

は、高齢者がボランティア活動の登録施設事業所等で行った実績をポイン

トで付与し、そのポイントを換金して介護保険料に充てることができる仕組みである。

平成19年9月から厚生労働省の認可を受けて実施しており、県内では南国市が本年度から始めている。

社会参加活動で生きがいのある元気な高齢者が増えることが期待できるが、財源のこともあり少し時間を掛けて研究したい。

## 歯科訪問診療の要件緩和

**問** 4月から歯科訪問診療の対象者の表現から「常時寝たきりの状態等」の文言を削除し、治療が行き届くように要件緩和を行ったが、本町での状況と対応は。

### 2 歯科医が訪問

**岡林住民課長** 要介護高齢者が在宅や施設で、歯科治療や口腔機能の維持管理のため、診療が受けられる制度である。

町内では、従前から二つの歯科医が訪問診療を行っているが、診療件数は少ないようだ。

なお、介護サービスで、要介護度4と5の人や重度障害者には、申請によりリフト付き車両の移送サービスも行っており、通院も可能である。

### 3区町営住宅

## 数年に分けて建設を

### 1年で仕上げる／町長

**問** 3区に計画している林屋敷団地は、住民から反対陳情が出ている。家賃、維持経費、償還などの計画と入居者以外の住民負担はないか。

**大原総務課長** 債務償還は、はじめの3年間は利子のみで、その後22年間元利償還となる。維持経費は、火災保険、エレベーター管理、修繕

**問** 補助対象期間は5年以内だが、単年度に50戸建設は入居が無理ではないか。複数年度に分けられないか。

**小田企画課長** 移住者や古い町営住宅、山間部の独り暮らしの人などを含めての50戸であり、無理ではない。

約80人入居すると想定して、住民税や地方交付税、入居者の消費活動などで、年間1200万円くらいの経済効果が考えられる。

**吉岡町長** 建物の性質や経費の問題があり、単年度で仕上げたい。

### 人口問題

## 県外から招く考えは 移住希望者と面談／企画課長

**問** 人口60000人を確保するための具体的な計画は。また、政策的に増えた人はいるか。

**小田産業建設課長** 具体的な計画は、道路整備や青年就農給付金事業、集落営農組織の立ち上げなどに取り組んでいる。国道33号高知西バイパスが完成すると高知市のベッドタウンになることも考えられる。



奥さん(左)と子どもを連れて横島の実家にUターン トマトの生産に励む山本さん(右)

津波の心配のない強みを生かして、空き家の活用も含め、県外から人を招く考えはないか。

**吉岡町長** 空き家を借りられるかが問題だが、県外からの移住は、県も力を入れているので可能性を探りたい。

**小田企画課長** 政策的には、高知FD関係が5人、緑のふるさと協力隊と地域おこし協力隊が2人転入した。

来年、東京で移住希望者との面談があるので、出向いて情報発信をしたい。

### 会長就任の効果

**問** 町村会会長就任による本町へのプラス効果は。

**岡副町長** 具体的にはないが、他町村からも気づってもらい、職員の励みにもなっている。

### その他の質問

**問** 町長は多くの役職に就いているが、業務に支障はないか。

**答** 職員が一生懸命やっております。支障はない。



武智龍 議員

# 指名の形を変えられないか

## 指名競争入札が現状だ／町長



片岡清則 議員



道路工事の状況を視察（9／18 決算現地調査・熊秋）

**問** 県では公共事業の入札で談合が行われ、大きな問題となっている。本町ではこんなことはないと思うが、入札価格や設計はどのように行っているか。

**現在**は指名競争入札だが、力のある業者が参加したいのなら指名という形を変えることはできないか。

**大原総務課長** 各工事等は担当課で設計しており、総務課は入札を担当している。

入札の予定価格や最低制限価格は設計金額を基に定め、町の財務規則によって入札をしている。

**小田産業建設課長** 設計は、高知県の共通単価があり、それを基に積算して設計書を作っている。

**高橋教育次長** 建築は設計業者に委託し、設計業者が地域の実情に合った単価を、3社くらいから見積もりを取って決めていくと聞いている。

**吉岡町長** 入札方法は過去に検討したこともあったが、指名競争入札で行っているのが現状だ。

### 3区町営住宅

## 木造にできないか

### 火災が心配だ／町長

**問** 3区の町営住宅用地の購入にあたって、地権者而非課税の約束をし、その後、住宅用地の場合50戸が必要と分かったのではないか。

**問** 50戸にこだわらず、数を減らして木造にすれば、町内の建築や左官の仕事もあり、アパート経営者にも影響が少なく、大義名分も立つのではないか。

**小田企画課長** 事前に約束はできない。税の控除は税務署に協議しなければならぬ。

行政が土地の先行取得をする場合は、税が控除される制度があり、1団地の経営は50戸以上の要件がある。

本町の人口減少や独居高齢者の安心・安全、移住促進などを検討する中で、50戸以上が必要というところで、税務署に申請した。

**吉岡町長** 火災の問題を考えたら、集合住宅は鉄骨鉄筋が望ましい。また、火災が起こった場合、木造は非常に危険だと考えている。

内部の造作や木を使う所は町内の業者で可能と思うので、できる限り携われるようにしたい。

# あれはどうなっちゅうが？

## 旧水道塔が危険

(平成23年9月議会)

**斎藤議員** 旧水道塔は、上部の窓ガラスも割れて、壊れかけの危険な状態だが、将来どうするのか。

## 取り壊しを検討

**環境水道課長** 昭和61年3月に閉鎖したままの状態で、取り壊しを含め検討する。

**町長** 歴史に残る建物だが、相当壊れているので、慎重に検討する。

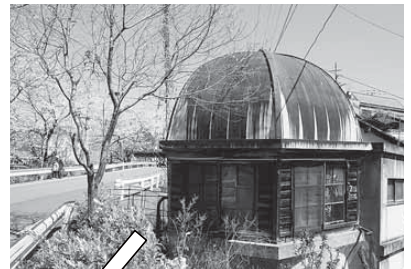
## 処理状況

## 木造部分を撤去

旧の水道管理棟の木造部分を取り壊して、下部のコンクリート部分(ポンプ室)は残し、その上を鉄板で覆っている。隣の建物(倉庫)へは、県道から鉄板の上を通って行けるようにしている。



旧ポンプ室の上を鉄板で覆っている



① 取り壊し前  
② 取り壊し後



定例会(9月3日)

## 産廃処理費を売主と元消防長に請求

消防庁舎新築工事が出た黒い土の処理費を土地の売主(越知町副町長)に請求し、コンクリートブロックの処理費は投棄に関係した元消防長に請求することにした。

## 衛生センター改修準備

衛生センターは47年間稼働し、四国で一番古い施設となっている。町長協議で延命化のため改修することにし、25、26年度に工事を準備している。

## 平成23年度高吾北広域事務組合決算

区分	歳入	歳出	
一般会計	9億5014万円	8億9483万円	
特別会計	特別養護老人ホーム	15億4258万円	13億4357万円
	養護老人ホーム	1億4235万円	1億1478万円
	知的障害者更生施設	2億3356万円	1億8282万円
	ふるさと市町村圏	1748万円	806万円
合計	28億8611万円	25億4406万円	

議会です  
こんにちは

# 野老山「おとなの学校」



伝承行事でわらじやクリスマスリースづくりを楽しんだ(2011年11月)



野老山小学校の「おとなの学校」は、開校から10年が過ぎた。

3代目学級長の坂本洋子さんは「毎週月曜日の定例活動には参加者が5、6人と少なくなつたが、四季折々の大きな行事には60〜70人が集まる」と話す。



学級長の坂本さん



皆さんの作品も数多い

わらじや竹トンボづくりなどの伝承行事やイモ掘りなどには幼稚園児や小学校の児童が大勢参加し、手作りカレーや郷土料理などを振る舞い、一緒に味わうことで地区民が元気をもらい、行事の後も子どもたちの話題で盛り上がりつつある。

来年3月には小学校は閉校し、地域の公民館となるので、その活動の二環として、地域外から生徒を募つての活動やビザづくり体験などの新しいメニューも取り入れたいとのことだ。

最近では生徒が高齢化し、徒歩での登校が困難な人も増え、11月からは社会福祉協議会が参加者を迎えるミニデイも予定されている。

野老山小学校は閉校するが、「おとなの学校」はこれからも続いて地域住民の憩いの場となり、地域の絆が二層深まることを期待します。

## 議事を傍聴しませんか

次の定例会は12月です。9月定例会の傍聴者は延べ5人でした。たくさんの傍聴をお待ちしています。



定例活動ではイベント計画や地域の花づくりなども考える

## 編集後記

関東ではこの夏、猛暑日が続き、水不足が起きた。北海道では、9月に入っても海水温が高く、サケではなくマンボウが多く捕れている。

本県では猛暑日がゼロで、雨の日が多く、晴れていても突然のゲリラ豪雨に見舞われた。本県では野菜が不作と聞き非常に心配している。

さて、永田町でも異常気象なのか、不透明な政治で不策が続く「人災だ」と言う人もいる。

越知町議会はそうならないよう、議会基本条例を基に改革を進めてステップアップを図り、議員も進化を続けていくことが必要だ。

《高橋》

編集・発行責任者

議長 岡林幸政

議会広報常任委員会

委員長 岡林学

副委員長 斎藤政広

委員 武智龍

委員 高橋丈一

委員 市原静子

※分かりやすい紙面にと心がけています。読後のご感想、ご意見をお寄せください。